

審議会／委員会を（楽しく）理解するための チェックポイント

2014年8月29日 川端

2013/2/5

1. 事業の理解

- 1) 先ず、事業目的を理解する。何の為にを行うのか。
- 2) 次に、目標（成果目標）を理解する。最終年度の目標と各年度の目標がある。
- 3) できれば、成果目標を測定する方法は理解しておきたい。

2. 委員の公募に際して ‘市民の応募意識’ に影響を与える主な要因

- 1) 市民個人に問題意識がないテーマは関心がもたれない。話にならない。
*テーマ設定と市民意識とのギャップが大きいのか？
- 2) 当該委員会の意義、活動内容が市民個人（問題意識はあるが）に理解されないと手を上げない。
*テーマがわかりにくいのか？ 活動内容の具体的イメージがわからないのか？
- 3) 公募委員に期待（主催者側の思い）されている事が市民個人に理解されないと手を上げない。
- 4) 自分（市民個人）が参画する意義（なぜ、自分が？））を理解できないと手を上げない。
- 5) 委員会等に参画できる条件が整わないと手を上げない（日時、仕事・家事等との両立など）。
- 6) 公募情報が目に留まらないと手を上げられない。
- 7) 申し込み手続きが煩わしいと応募を止めてしまう。

審議会／委員会

……何をやっているかわからないと人は無関心になる。

- 1) いつ、スタートしたのか。予定ではいつまで行うのか。
- 2) 審議会／委員会の生まれた理由、目的、目標（事業の目的からみた委員会の目的）は？
- 3) 委員はどのような方々で構成されているのか。目的、目標からみて妥当なのかな？
- 4) 各委員の選定の考え方は？（各委員の期待される役割）
- 5) これまでの公募委員の人数（延べ人数、実数）は？ どのような方々が参画？
- 6) 会議の開催予定／日時は？（平日／休日、午前／午後／夜）
- 7) 事業の目的、目標から見て委員会等の開催回数は妥当か？
- 8) ところで、委員会の履歴（各年度の会議の回数と各会議のテーマ、結論／成果）は？
- 9) とりわけ、委員会／審議会としてのこれまでの成果は？行政等にどのように反映された？
- 10) 委員会／審議会を運営していて感じる現在の課題は？
- 11) 公募委員の役割（期待していた役割、実際に参画しての役割）は？
- 12) 委員会／審議会の成果はどのような媒体で発信されているのか？
- 13) 公募委員の活躍はどのような媒体でどのように発信されているのか？

公募はどのような媒体で、いつ、どのようなメッセージで行ったのか ……適切だったか？

- 1) メッセージを受け取った人が〇〇委員会／審議会を具体的にイメージできるか？
- 2) 審議会／委員会の意図（目的、目標、公募委員への期待）が理解されるか？適切に伝わるか？
- 3) 公募委員の役割が理解され、参画の意義が伝わるか？
- 4) 公募の方法／チャンネルは適切か？ 広報 HP
- 5) 募集の回数、時期／タイミングは適切か？
- 6) 公募委員の期待される役割からみて公募対象を絞り込みする必要があるか？

以上